



お客様に心から満足していただきたいので、接客から
施術まで一人で行っています みずかみ 水上 ちぐさ 千草さん(下竹田)

美容専門学校を出て、エステと筋で働いてきた水上さん。中間管理職になるまで勤めあげた大手の会社を3年前に退職し、自身のお店を開業しました。

「今は、最初から最後まで自分で受け持つので、お客様ともお話しできるし、より良いサービスを提供しやすいです」と話す水上さん。

エステティシャンという職に誇りを持ち、お客様のことを一番に考えている様子から、笑顔の下に芯の強さを感じられました。「3年間は頑張ろうと決めてきました。3年目を迎えたので、週1くらいはお休みを取ろうかなと考えています」。

(12月6日 ル ボヌールにて)

告知板

公民館講座のお知らせ

1月も魅力的な公民館講座がいっぱい！
気軽にご参加ください。

募集中の講座

オンラインで 確定申告講座 (シルバー・初心者向け)

〈内容〉

年度末の確定申告に向けて、スマートフォン等によるオンライン申請方法を学びます。

〈日時〉1月16日(金)10:00～12:00頃

〈場所〉トレセン「大ホール」

〈講師〉松本税務署職員

〈申込み〉必要

郷土酒を知ろう (山形村×朝日村)

〈内容〉

生産者の皆さんから話を聞きながら旬の郷土酒をいただく講座です。

【各回共通】(参加費)1000円/人

〈申込み〉必要(定員:各15名)

朝日会場 ※日本酒

〈日時〉1月17日(土)18:00～20:00

〈場所〉朝日村中央公民館

※山形村トレセンから専用のバスが出発します。

山形会場 ※ワイン

〈日時〉1月31日(土)18:00～20:00

〈場所〉山形村トレセン「大ホール」

各講座の詳細はホームページをご覧ください。

【お問い合わせ・お申し込み】

山形村教育委員会 ☎0263-98-3155



みなさんは夢の中でお酒を呑んだことはありますか？▼夢占いではお酒を呑む夢というのは「リラックス」の示唆と言われ、心のゆとりや気楽さが必要な暗示と言われている▼本で読んだのか、誰かに聞いたのか忘れてしまったが夢の中で呑むお酒(夢酒)は美味しいという話を聞いていつかは呑んでみたいと思っていたが、ついにその時が来た▼旅館の部屋みたいな所で、顔がぼやけて誰だかわからない男と徳利で酒を酌み交わす。一口呑んで美味しい、しっかりと口の中を通り過ぎ淡く消える。何杯でも呑んでしまおう、置いてあったお酒を全部呑んでしまつて夢が覚めた。ああ、もう一度夢酒を呑みたいものだ。

山すそ

お茶教室 in 清水寺

11月9日(日)、清水寺境内にある文化交流施設あららぎの庄にて公民館講座のお茶教室が行われました。小雨と舞い散る紅葉を窓の外に眺めながら、参加者はお茶を楽しんでいました。講師の野田宗由先生(下大池)の手ほどきでお茶の点て方を教わった土屋里美さん(下竹田)は「非常に楽しかったです。良い緊張感と優雅な時間を過ごせました」と話していました。あららぎの庄では、来年



も様々な催しや教室が予定されています。公民館講座も開かれていますので、ぜひ足をお運びください。

パーキンソン病を学ぶ

12月5日(金)、トレセンふると大ホールで、全国パーキンソン病友の会長野原支部協力のもと公民館講座が開催されました。第1部では、患者歴17年の宮沢浩一さん(駒ヶ根市)が講演されました。自らの体験を話すことで、一人でも病気で困っている方の気持ちが楽になるように、との思いで活動されていることが伝わってくる内容でした。第2部では、グループに分かれ自己紹介をし、否定

をしないという1つだけのルールのもと、それぞれの話を耳を傾けました。集まった35名の参加者は、自身がパーキンソン病である方や、家族や友人がそうである方、医療従事者など様々な立場の方がいて「薬の情報が交換できてよかった」「壮絶な話だったけど、なぜか楽しかった」といった感想が挙がりました。



※パーキンソン病：脳の黒質で作られる神経伝達物質の一つであるドーパミンが減少して起きるもので、原因がわからず治療法も確立していない病気
(全国パーキンソン病友の会HPより引用)

おやし塾

11月21日(金)、トレセン調理室でおやし塾の五平餅づくりが行われました。この日はてんぷらやそばも味わいました。自分たちの道具を持ち寄り旬の食材使って伝統料理などを完成させ、会話を楽しみながら舌鼓を打っていました。

おやし塾は概ね60歳以上の方が対象です。酒蔵巡りや防災講座など様々な活動を行っていますので、ご興味のある方はお問い合わせ下さい。



山すそ

みなさんは夢の中でお酒を呑んだことはありますか？▼夢占いではお酒を呑む夢というのは「リラックス」の示唆と言われ、心のゆとりや気楽さが必要な暗示と言われている▼本で読んだのか、誰かに聞いたのか忘れてしまったが夢の中で呑むお酒(夢酒)は美味しいという話を聞いていつかは呑んでみたいと思っていたが、ついにその時が来た▼旅館の部屋みたいな所で、顔がぼやけて誰だかわからない男と徳利で酒を酌み交わす。一口呑んで美味しい、しっかりと口の中を通り過ぎ淡く消える。何杯でも呑んでしまおう、置いてあったお酒を全部呑んでしまつて夢が覚めた。ああ、もう一度夢酒を呑みたいものだ。

図書館からのお知らせ

年末年始休館のお知らせ

12月27日(土)~1月5日(月)まで、年末年始休館です。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

新春開運 “帯くじ”やります!

本との思わぬ出会いを演出します。帯を読んで心惹かれたらお借りください。

★新年1月6日(火)から★ くじが無くなり次第終了

《お問い合わせ》

山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館より

BOOK No. 79 編集=山形村図書館

製本講座 「着物の和綴じ本」

今年のNHKの大河ドラマ「べらぼう」は、江戸時代の出版業界のお話でした。和綴じ本ができるまでの様子が丁寧に描かれていましたね。「べらぼう」にあやかり、和綴じ本を作るなら今年やらなくていつやる?というわけで、10月12日(日)、製本工房「紙志乃」の鈴木信さんを講師に製本講座を行いました。鈴木さんのお弟子さん2人もお手伝いに来てくれました。14名の参加者が、色とりどりの着物地から表紙の布を選びました。鈴木さんがたくさん集めた着物地から、製本に向く布地を裁断し、裏打ちをしてくれてあります。そこに



台紙を貼って、表表紙、裏表紙を作ります。表紙に冊子を挟み込み、好みの刺しゅう糸を選んで綴じていきます。鈴木さんの手さばきは流れるようですが、皆さん目を白黒。「先生、これでいいの?」と確認しながら仕上げていきます。大満足の出来栄でした。

図書館SDGs ウッドガストロブ講座開催

11月22日(土)、トレンセン元気回復室にて、ウッドガストロブ作りをしました。定員満杯、12名の参加でした。

なるべく安価な材料を使い、易しい工程で作れるよう、講師の中野あやさんが工夫に工夫を重ねたストロブです。

工具の使い方やコツを教え合ったり、押さえるのを手助けしたり、参加者同士協力して制作しました。最後の難関、筒を缶にセットすると、「できた!」とあちこちから歓声が上がりました。

完成後トレンセン前のロータリーに移動して、試し炊きをしました。松ぼっくりと杉葉を入れ、ほぐした麻ひもを火口にして点火。開放炊きというやり方でご飯を炊きました。もの20分くらいでおいしい



ご飯が炊けました。もう1台は炭をおこし、マシユマロを焼いて食べました。

電気もガスも使わないエコストロブ。普段の生活で活用したいです。さっそく松ぼっくりを拾いに行きましょう。



今宵はナイトライブラリー 静かな夜のおはなし会

10月23日(木)、28日(火)の2夜にわたって、今年もナイトライブラリーが開催されました。

夜の図書館でのおはなし会は、静けさの中で、心落ち着けて物語に浸るのに絶好の機会なので、毎年楽しみにしてください。

村内で活動する「おはなしの会」の皆さんが、月と星の夜々をテーマに、絵本や紙芝居、朗読などで、しつとりとした雰囲気を作ってくれました。2夜でのべ35名が物語の世界に酔いしれました。



BOOK 79 新着本

〈おすすめ新着本紹介〉

『初めての手編みで作るシンプル小物』 Masashi(朝日新聞出版)

冬本番です。マフラーや帽子など、編み物初めてさん向けのシンプルなお小物ばかり集めています。解説動画のQRコードつき。



『本が生まれるいちばん側で』 田中裕子(ライツ社)

松本にある老舗印刷会社、藤原印刷が、「自分で本を作りたい」人の想いに応え、伴走し続けてきた15年の軌跡です。



『生物がすむ果てはどこだ?』 諸野祐樹(くもん出版)

海底下のどこまで生き物がいるのかを科学掘削船「ちきゅう」で探ります。世界に誇る日本の科学技術を使った研究です。



『うれしたのし江戸文様』 熊谷博人(福音館書店)

日本の伝統的なデザイン「文様」は江戸時代に生まれました。文様から江戸の暮らしが感じられます。



〈新着DVD〉

『怪物』みをつくし料理帖 『ぼくが生きてる、ふたつの世界』 都会のトム&ソーヤ(他)



会場全体の様子

「とろろそのままの味を楽しめた」と、山形村産の長芋を堪能した様子でした。

「とろろそのままの味を楽しめた」と、山形村産の長芋を堪能した様子でした。

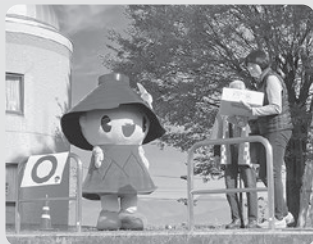
新そば賞味会

新そば賞味会は、皿そばとやまっちそばを販売。この時期にしか食べられない新鮮なそばに、来場者は皆舌を唸らせていました。塩尻市から訪れた中野豊さん・まき子さん夫婦（ともに70代）は、「やまっちそばというものは初めて知った。見た目も良いし、のっている芋もよかった。芋のとりみがあつておいしかった」と絶賛。また会場ではとろろごはんや豚汁も食べたとのこと。



新そば賞味会の大行列

11月16日(日)、ミラ・フード館周辺で、やまっち祭りが開催されました。会場では農産物販売や商工会青年部による催し、また飲食ブースが多数出店しました。その他、とろろごはんや豚汁の振る舞いや新そば賞味会も開催され、村内だけでなく村外からの来場者も集まり賑わいました。会場にはやまっちも登場し、じゃんけん大会や〇×クイズ、撮影会も開かれました。



〇×クイズ

やまっちが出演する〇×クイズが開催され、こちらも子どもから大人までが参加。クイズの内容は、やまっちに關する問題（頭の花や性別、何の神様かなど）から、村の合併時（明治7年）の人口、清水寺のご本尊にまつわる問題まで全10問。難易度はバラバラでした。村民でも全問正解するのは難しいと思われるこのクイズ大会で優勝したのは、このイベントのためにわざわざ神戸から車で来たという須場三紀さん（50代女性）。「信じられない。なんとなく勘で選んだものが当たった」と優勝した気持ちは語っていました。賞品のりんごは、最後の問題で残ったもう1人の方に少しお裾分けしたそうです。

やまっちが出演する〇×クイズが開催され、こちらも子どもから大人までが参加。クイズの内容は、やまっちに關する問題（頭の花や性別、何の神様かなど）から、村の合併時（明治7年）の人口、清水寺のご本尊にまつわる問題まで全10問。難易度はバラバラでした。村民でも全問正解するのは難しいと思われるこのクイズ大会で優勝したのは、このイベントのためにわざわざ神戸から車で来たという須場三紀さん（50代女性）。「信じられない。なんとなく勘で選んだものが当たった」と優勝した気持ちは語っていました。賞品のりんごは、最後の問題で残ったもう1人の方に少しお裾分けしたそうです。



優勝した須場さん

じゃんけん大会



会場では、やまっちとのじゃんけん大会が開催。子どもから大人まで大勢の参加者の中から勝ち上がったのは、塩尻市から来た上條朝陽くん（6歳）。賞品の長芋5kgは「ご飯にかけて食べたい」とご満悦の様子でした。



優勝した上條くん



やまのこまつり

やまのこ保育園



多くのお客さんでにぎわう

11月16日(日)、やまのこ保育園でやまのこまつりが開催されました。様々な手づくり商品の販売ブースや食堂、子ども向けワークショップなどのテントが並び、小春日和の日差しの中、会話を楽しみながら買い物をするお客さんの姿が多く見られました。

家族4人で訪れた百瀬恵美香さん（下竹田）は「就園1年目なので今回はスタッフを免除してもらいました。OBの方も多く、在園児のパパママたち同様、明るく魅力的な方ばかりで、やまのこ保育園の温かさを感じます」と話していました。



やまのこ食堂

下竹田分館冬の集い

12月6日(土)、下竹田公会堂で「冬の集い」が行われました。10時より郷土史学習、13時よりボウリング大会、17時より懇親会と終日イベントとなりました。最後の懇親会では有志が歌手を招きライブ、参加者全員一緒に歌い盛り上がりました。



懇親会集合



分館長始球式

昨年のテーマをさらに深めた 上竹田分館人権学習会

12月7日(日)、上竹田公会堂において平林昌廣さん(上大池、村教育委員会教育長職務代理者)を講師に招いて人権学習会が開かれました。参加者26名は、「地域コミュニ

ニティの再構築と人権、新旧住民の共生に向けて」のテーマでお話を聞いたのち、2グループに別れワークショップを行いました。



2グループでのワークショップ

宅地造成が進み65戸の新築が見込まれる上竹田の地域コミュニティ再構築のために、有効な手立てを模索する研修会となりました。

山形保育園 焼きいも会



11月12日(水)、山形保育園で毎年恒例の焼きいも会が行われました。少し肌寒いですが、秋晴れの天気にも恵まれ、各クラス分担当作業でさつまいもの準備は万端、みんなで投げ入れました。おやつ時間は外に集まり、みんなで食べて今年も大成功でした。



うまく包めるかな...



そーれ!

えいっ!



おいしくな〜れ!

山形小学校

学びの発表会

11月21日(金)、山形小学校で1年生・5年生の学びの発表会が開催されました。1年生は、学習であさがおを育ててそのつるを使ってリース作りをしました。遠足でなろう原公園に行ったときなどに拾った松ぼっくりやドングリなどをリースに付けました。またリボンなど可愛い飾りもオリジナルで付けました。この日は保護者に工夫したところなどを熱心に説明していました。



1年生作品



1年生 あきとあそぼう

5年生は1年間学んできたお米作りの発表をしました。田植えから稲刈りまで昔と今の違いを学習した子どもたちは、「昔の人が苦労してお米を作っていたのがわかった」などの感想を発表しました。この日は育てたお米でおにぎりを作り、お米作りでお世話になった方々に感謝を込めてふるまいました。一緒に食べた子どもたちからは「1年間苦労して作ったお米は甘くて最高でした!」という感想が聞かれました。



5年生 米作り発表

あそびの広場

11月22日(土)、山形小学校にてPTA主催の「あそびの広場」が行われました。保護者や松本大学の教授らを講師に6つの講座が開かれ、合計100名を超える参加者が思い思いに秋のひと時を楽しみました。

『ホットケーキミックスで作るバナナパンとマシュマログラノーラ作り』講座に参加した百瀬幸穂さん(小4・上竹田)は「バナナパンを小さく丸めるのが少し難しかったですが、想像以上に上手にできました」と話していました。



バナナパンとマシュマログラノーラ作り



HIPHOPダンス教室

FBC (フラワーブラボーコンクール)

農林水産大臣賞受賞



花園委員会 三役



メイン花壇

山形小学校では、児童会の花園委員会を中心に花を育てる活動をしています。毎日の当番活動で、サルビアやマリイゴルドなどの種を蒔き、仮植や摘蕾、摘芯などをしながら苗を大きく育て、同時進行で花壇での土づくりをしました。仮植ではボランティアの方にも手伝っていただき、計2000株の苗を作りました。この苗を全校で学年の花壇に植えたり、委員がメイン花壇に植えたりしました。メイン花壇のデザインは全校に募集し、委員の選考の結果、2年生の平沢優真さんのデザインに決定しました。また、トレセンの花壇にも子どもたちの苗を活用しました。このような子どもたちの活動が、中部地方でのFBC花壇コンクールで評価され、農林水産大臣賞を受賞することとなりました。来年度も花がある学校になるように、子どもたちが活動していきます。

修学旅行

11月13日(木)・14日(金)

山形小学校6年生が東京方面への修学旅行に行きました。修学旅行のめあては「楽しく！スマイル！たくさん思い出をつくろう！」です。最初の見学場所は国会議事堂です。建物の中を見学し、国の中心としての役割を感じる事ができました。次は東京タワーです。展望台から東京の街の景色を楽しみ、お土産を買いました。その後は国立科学博物館に行き、広い館内をグループの友達で興味関心のあるところを見て回りました。東京クルーズでは、船上から眺める東京の街並みの変化を楽しみ、夕暮れに輝き始めるビル群に子どもたちは感動の声を上げていました。2日目は東京ディズニーランド！グループの友達と話しながらアトラクションに乗りま



した。たくさん笑顔とともにクリスマスのおもてなしを感じたり、すごい人混みを経験したりしました。修学旅行では友達の良いところをたくさん見つけ、五感を使って東京を感じ、たくさん思い出をつくる事ができました。

防犯ポスターコンクール表彰式

12月2日(火)、山形小学校で山形村防犯協会が主催する防犯ポスターコンクールの表彰式が行われました。87点の応募作品から最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作3点の計7作品が入賞。入賞者には鉛筆のほか記念品が贈られました。最優秀賞に選ばれた横水智晴さん(5年1組)は、「最優秀賞をとれると思っていたことが、来年も挑戦したい」と話していました。

- 最優秀賞..横水 智晴 5年
- 優秀賞..松本 希帆 5年
- 優秀賞..鏑水 悠理 5年
- 優秀賞..黒沢 光 6年
- 佳作..古畑 心春 6年
- 佳作..鬼頭 来杏 6年
- 佳作..佐々木 柊碧 6年



風

おめでた字・題 (敬称略)

- 瀨川 彩芽花 朋子 上大池
- 横水 仁那 愛美 下竹田
- 百瀬 房美 77歳 小坂
- 本庄 日出子 99歳 上大池
- 百瀬 勉 74歳 小坂
- 佐藤 永規 58歳 下竹田
- 小林 すゑ子 96歳 小坂

特別企画

ありがとう、スカイランド!

— 閉館によせて、館報で振り返る50年の歩み —

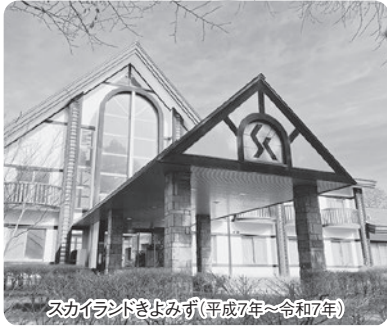
山形村唯一の観光宿泊施設「スカイランドきよみず」(以下：スカイランド)が、この11月末日をもって静かに幕を下ろしました。前身の「清水荘」のオープンから50年間、村内外からの利用客を温かく迎え入れ、地域の活性化に貢献してきました。その歩みを『館報やまがた』(以下：館報)の過去の記事とともに振り返ります。



絶景の大浴場



地元食材を使った料理



スカイランドきよみず(平成7年～令和7年)



第9回清水高原祭り(平成元年6月)



スカイランド竣工式(平成7年7月)



清水荘(昭和48年～平成5年)

開発から全盛期

昭和45年、山形村は清水高原を保養休養地としての開発に着手し、3年後、標高1300mの避暑地に村営の保養センター「清水荘」をオープンしました。翌年から別荘地の分譲が始まると、施設は宿泊機能に加え、別荘管理や災害避難所としての重要な役割も担うようになりました。その後、スキー場、後にゴルフ練習場などが建設され、清水高原はレジャー観光地へと発展を遂げました。特にスキー場は人気が高く、昭和56年の館報には、東京や大阪からの利用客を含め、多い日には1日400人が訪れたと記録されています。また初夏には、施設を拠点に村の特産物や音楽を楽しむ清水高原祭りやマラソン大会などのイベントが開催され、家族連れを中心に賑わう様子がたびたび誌面を飾りました。平成7年、建物の老朽化に対応するため、施設はリゾートホテルをイ

「清水荘」・「スカイランドきよみず」 沿革と運営変遷

- 昭和48(1973)年
村営の保養センター「清水荘」オープン
- 平成5(1993)年
清水荘、建て替えのため閉館
- 平成7(1995)年
「スカイランドきよみず」オープン
施設運営が第三セクターに移行
- 平成18(2006)年
施設運営が指定管理者に移行
- 令和7(2025)年
施設存続に関する検討委員会を設置
- 令和7(2025)年
「スカイランドきよみず」閉館(11月末日)
- 令和8(2026)年～
施設解体へ、跡地の活用法を検討

*「館報やまがた」縮刷版(全4巻)は、山形村図書館で閲覧貸出しができます。また、1巻以外は購入もできます。

輝かしい発展の一方で経営への懸念も報じられていました。スカイランド竣工を機に村営から第三セクター、指定管理者へと公設民営の形に移行し、サービスの充実と集客を目指してきました。しかし、経済の長期低迷と建物の老朽化、維持費の高騰が経営を直撃し、厳しい状況が続きました。これを受け、村は今春、施設存続に関する検討委員会を設置。住民アンケートの結果と協議の末、やむなく閉館の決断に至りました。

50年の歩みを振り返ると、清水荘とスカイランドが人・自然・文化を繋ぐ大切な交流拠点だったことが改めてわかります。思い出深い場所がなくなるのは寂しいですが、跡地が今後どのように活用されるのか見守っていきたいと思います。長きにわたり多くの思い出を作ってくれたスカイランドへ、「ありがとう、そして、おつかれさまでした」。

低迷期から閉業へ

周辺の遊歩道と併せて清水高原を象徴する観光名所として、館報で大きく紹介されました。



スカイランドについて3名の方に思い出をお聞きました。

*30代女性(下竹田)

GoToキャンペーンで家族と初宿泊しました。その後、子どもと同級生家族と再訪し、皆で泊まりました。お風呂からの眺望と季節のお料理が心に残っています。

*90代女性(上竹田)

清水荘時代に常会の婦人会の日帰り、スカイランド時代では同姓会や法要に使わせていただきました。法要に合せたお料理に心遣いを感じました。ありがとう。

*70代男性(清水高原)

東京に住む孫はスカイランドのお風呂が大好きで、家族にとって思い出の場所です。閉館は残念ですが、今後清水高原にどんな中核施設ができるのか楽しみです。

2025年を振り返って

舟釣り

あーちゃん(上大池)



今年、初めて舟釣りをしました。直江津の海で、イナダ(ブリの幼魚)を狙いました。針の調子が良かった。60cmを超える大きさのものが、なんと10匹も釣れました。2つ持つていったクーラーボックスに入りきれないくらいでした。イナダをさばく技術を持つていないので、全部知人に分けました。次はインダイを釣りたいなあ。

目と耳

K.O.(中大池)



3月に白内障の手術をし、先月は補聴器を購入しました。日頃の買い出しや家人との会話に必要だからです。おかげでこれまでよりもはつきり見えたり聞こえたりするようになりました。しかし、棚のホコリとかテレビのCMなどのうるささが気になるようになってしまい、何事も善し悪しだと改めて感じています。

伝統文化に浸る

O.N.(下大池)



大学院の研究で南信州の祭り・民俗芸能を調査する中で、本当に多くの人や文化と出会いました。また短期移住して、住民が火薬から手作りする奉納煙火に携わったことも。伝統文化が地域で継承される意義を感じ取れた一年でした。あとは論文を書き上げるだけ！

旧友との再会

帰郷した人(小坂)



私は高校を卒業後に県外に出て、そこで就職しました。その後、転職を機に山形村に戻ってきました。村のお祭りに参加した時に中学時代の旧友に約30年振りに再会しました。中学時代に戻ったような気分になりました。

3歳児と喜怒哀楽

Y.M(上竹田)



今年、私の生活は3歳の娘を中心にまわっていました。保育園に行くようになったので日中は仕事でマイペースにできますが、朝夕は娘の支度に追われる毎日でした。人に合わせた生活はしんどいこともありましたが、一緒に早寝になってお肌が綺麗になりました。

祭典委員会

Y.M(下竹田)



今年、祭典委員会の役員をやりました。コロナを経て、また沢山の子供たちの賑やかな声が戻り、やつぱりいいものだと思えました。さらに、委員会の活動を通じて新しい方々との繋がりができ、当初役員の声が掛かったときは不安もありましたが、終わってみればやって良かったなと思えます。お祭りはいいですね。

2025年の出来事

- 1月・冬の花火大会(19日)
- 2月・百瀬繁寿 新村長 無投票にて当選(11日)
- 3月・降雪被害ビルールハウス倒壊ほか
- 4月・桜の下コンサート(12日)
- EXPO 2025 大阪 関西万博 開幕(13日)~10月13日)
- 長野県北部を震源とするM5.1の地震。山形村は震度3(18日)
- 7月・山形市と岐阜県山形市と山形村、「やまがた協定」締結(24日)
- 8月・第41回山形じゃんずら2年ぶりに開催(14日)
- 9月・全国的にクマ出没多数、人的被害も続出
- 10月・公共施設の使用料改定、予約枠は1時間単位に(1日)
- 高市早苗内閣発足 初の女性首相誕生(21日)
- アイシティ1駐車で子グマ捕獲 全国ニュースとなる(27日)
- 11月・総合文化祭(1日・2日)
- ・やまつつま祭り(16日)
- ・スカイランドきよみず閉館(30日)



早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。それぞれの地区の方々に、一言ずつコメントをいただきました。皆さんの一年はいかがでしたでしょうか。来年も館報やまがたをよろしくお願ひします。

良いお年をお迎えください。

館報やまがた編集部一同
11月号の6ページ、百瀬琢夫さんのふりがなに誤りがありました。誤くらお↓正たくお訂正してお詫び申し上げます。

